

新潟市ささえあいセンターの活動状況

資料3

1 取組内容

(1) 主な支援内容

- ・個別訪問によるお困りごとの聞き取りや相談対応
- ・生活再建のための情報提供
- ・相談内容に応じた専門支援機関等へのつなぎ など

対象世帯 584 世帯 延べ 3,293 件訪問 (令和7年12月末時点)

(2) 支援区分

被災世帯の状況を整理・分析し、4つに分類。日常生活や住まいに課題を抱える下記の区分②～④に該当する世帯を中心に支援を行い、悩みや課題を解決することで、区分①への移行を推進。

支援区分	R6.6 調査時	R7.12末 時点
①生活再建可能世帯 住まいの再建方針や再建時期が決まっており日常生活において特に大きな問題が見られない世帯	9	439
②日常生活支援世帯 心身面等に課題を抱えているため、日常生活において継続的な支援が必要な世帯	35	19
③住まいの再建支援世帯 住まいの再建方針や再建時期が未定である世帯など	50	114
④日常生活・住まい再建支援世帯 住まいの再建に関して課題を抱えており、かつ、日常生活においても、定期的な支援が必要な世帯	462	12
合計	556	584

※定期的にアセスメントを実施し、支援区分の見直しを実施

2 活動状況

(1) 被災者交流会の開催

[目的] 被災者同士の交流で共感し支え合うとともに、震災の教訓を生かし地域づくりにつなぐ。

[日時] 令和7年11月18日 [会場] 坂井輪コミュニティセンター

[内容] 懇談会（悩みや気持ちの共有）、体操、地域支援の取組紹介

[参加人数] 17名

【交流会の様子】



簡単な体操



地域支援の案内

(2) センターへの直近の相談内容

・住まいの再建面（自宅解体後の移転先、再建方針等）

「被災した自宅を解体した後の移転先が見つからない」「親の健康状態の関係から、再建方針が決められない」など

・日常生活面（不安感、地域の交流等）

「日中に独居状態となる高齢の親の転倒リスクが不安、地域との関わりが無い」など

3 今後の取組み

- 住まいの再建の進捗に応じたフォロー
- アセスメント実施による訪問頻度・支援方法の調整・更新
- 見守り・相談支援による専門機関への引継ぎ・再建支援